

NO. 4	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	1	平 野 武 志	
<p>1. 環境問題における我が町の取り組みについて</p> <p>現代社会において、環境汚染に起因する自然破壊や人間・動物に与える影響については様々な問題が指摘されています。</p> <p>地球に誕生し生きている人間として、子孫たちの将来を考えると不安であり、今出来ることは何かを考えさせられます。</p> <p>大気汚染によるオゾン層の破壊など規模の大きな話になりがちですが、一人一人が小さな取り組みを進めることを総意として持つことが重要だと思います。</p> <p>平成31年3月定例会で、鈴木議員が環境に関わる一般質問をした際、条例制定等には否定的な答えであり、環境問題に対し消極的にも感じました。人口の少ない自治体からの発信・取り組みが、大きな流れや動きになることも多くあります。</p> <p>そこで下記についてお伺いします。</p> <p>(1) プラスチック製レジ袋禁止の取り組みについて (条例を制定し、全国チェーンの店舗も含め町内全域で進める)</p> <p>(2) 超小型モビリティの導入 (自治体としての認定から町民の導入補助まで)</p>			町 長
<p>2. 移住・定住施策（人口減少対策）について</p> <p>人口減少対策については最重要課題であるにも関わらず、一向に強い取り組みが見えません。その結果、人口減少は進む一方です。</p> <p>過去にさかのぼると、常任委員会でも人口減少対策について議論し、また、同僚議員からも様々な場面で質問や提案が出されています。</p> <p>私自身も人口減少に関連する一般質問は平成23年から10回を数えます。様々な提案や専属課の新設も求めてきましたが、町長には受け入れてもらえませんでした。</p> <p>下記の事例に沿って質問を数点に絞りましたので町長の考えをお伺いします。</p>			町 長

- 【事例】 ①結婚を機に子育て支援の充実した他の自治体へ移住した  
②子供が住んでいる木古内町に移住したいが、手頃な住宅  
を見つけられない（一軒家希望の高齢者）  
③家族４人で函館近郊の田舎に家の購入を考えたが、様々  
な条件検索の中で木古内はヒットしなかった。

- (1) HPで移住・定住の表題を掲げてはいるが、広く周知されていない。更なる支援の充実とPRの強化についての考えを伺います。
- (2) 空き家バンクの伸び悩みが目につく。売買や賃貸に町も関与し  
両者への支援策にもう一步踏み込むべきだと思いがいかがか。
- (3) H27年12月定例会の一般質問2項目目の(1)～(3)の提案  
を再度考えていただき、移住者増に向けて取り組めないか。

※いずれの施策も一定の財源を要するが、今やらなければ手遅れになる。また、財源を投入しても人口減少の歯止めが進むと交付税や税収増が期待できる。